

# ながらスマホの厳罰

※ 危険及ぼす場合は反則制度の適用除外で刑事罰も！！



ご承知のように道路交通法の改正に伴って、2019年12月1日から、車両運転中の「ながらスマホの厳罰化」がスタートしました。

2018年中に携帯電話等に伴う交通事故の発生件数が2,790件と過去5年間で約1.4倍に増加したことや、携帯電話などを使用中に運転者が起こした死亡事故の発生割合が未使用時に比べ約2.1倍と高くなったことが背景にあります。

反則金や違反点数が法改正後は3倍、即時免停の可能性も

運転中の携帯電話の使用や保持・注視などでは法改正前においては反則金が6,000円で違反点数が1点でしたが、法改正後は反則金が18,000円で違反点数が3点となり、法改正前の3倍となりました。

また、運転中の携帯電話の使用などによって交通の危険を及ぼした場合には法改正前では販促制度のもとで反則金が9,000円でしたが、法改正後は販促制度の適用が除外され、刑事罰の適用となります。

これは、ながらスマホの厳罰化の真骨頂ともいえるとても厳しくなったところです。

さらに2点だった違反点数が法改正後は3倍の6点となり、即事免停と非常に厳しい法改正後となっています。

**「自分だけは大丈夫！」は間違い！  
高い携帯電話使用中の死亡事故発生率！**

道路交通法に伴って「ながらスマホの厳罰化」が図られましたが、走行中の車輛を見ると、運転者が携帯電話を使用しながら運転している場面はそれなりに見かけることがあります。かかってくる電話に反射的に出てしまったり、ゲームに興じたいという思いに駆り立てられたりしているのでしょうか。

人には正常化バイアスが働き「自分だけは大丈夫」と思考し行動してしまいます。しかし、携帯電話などを使用した場合に死亡事故発生率が高くなることを考えると、いつでも危険と隣り合わせであり、携帯電話などを使用しての運転はリスクとなることを自覚する必要があります。



アイケー通信

第4号

# グローバル時代の恐怖

グローバル・グローバリゼーション（グローバル化）の議論が多方面にわたり報道されています。インターネットによる SNS が浸透したことで情報の拡散が早く、あっという間に世界中に伝わります。

中国の武漢市で新型コロナウイルスの発生が確認され WHO に報告されてから四ヶ月が過ぎました。今回のウイルスの「破壊力」の大きさは本当に驚かされると同時に恐怖感を覚えます。

最近では大規模な自然災害どこかで頻繁に起きて

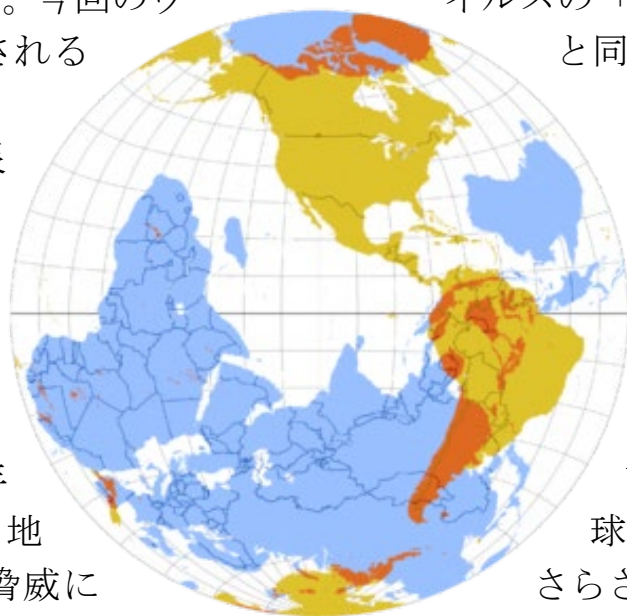
日本でも 1995 年の大震災、2011 年の東日本大震災、その後も全国各地で被災が続いています。比較的少なかった岡山県も 2 年連続で西日本豪雨災害があり、地味なウイルスや自然災害の脅威に

グローバルな時代に生きている日

このような猛威を振るう現状には、とても太刀打ちできません。

自然との共生、共存が急がれる状況に追い込まれている

今こそ ESD「持続可能な社会づくり」の推進、実践が求められています。



害が世界中のどこかで頻繁に起きています。阪神淡路大震災、その後も全国各地で被災が続いています。比較的少なかった岡山県も 2 年連続で西日本豪雨災害があり、地味なウイルスや自然災害の脅威にさらされています。

本人、そして地球人が

## 人物ファイル

**中村 悟** ナカムラサトル（岡山県倉敷市児島出身・53歳）

- ◇ 入社日 : 1998年（平成10年）1月1日
- ◇ 好きな言葉 : 知らざるを知らずとなす。是知るなり
- ◇ 趣味 : 旅行
- ◇ 今後の抱負 : 新型コロナウイルス関連のニュースが毎日飛び交って1年先、5年先が見えない情勢ですが、アイケーワンチームで乗り切って行きたいです。

